

## 博士学位申請論文審査報告要旨

申請者氏名	田 稼之
学位の種類	博士(文学)
論文題目	中国高等教育システムにおける地方重点大学の機能多様化と教育機会・質の確保 ー地方重点大学における学部、独立学院および継続教育学院の特質と機能ー
審査要旨	
<p>本論文は中国における優れた高等教育を受ける機会をめぐる都市部と地方間での格差は改善されているのかという課題設定に基づき、山西省に位置する一地方重点大学内の学部、継続教育学院、および独立学院という三つの教育機関が果たすことを期待されている教育機能について、在籍学生に対するアンケート調査や教職員へのインタビュー調査によるデータの分析だけでなく、中央政府による各機関に関する政策文書や全国データも併せて詳細に検討し、理念と現実とのずれを明らかにしようと試みたものである。</p> <p>本論文は序章、第1章から第8章までの本文、並びに終章からなり、第1章から第4章までが第I部、第5章から第8章までが第II部として構成されている。</p> <p>序章では中国における近年の高等教育改革を通じて研究を重視する重点大学の発展状況が概観され、その中でも本論文で注目すべき研究課題として、第1に、学部、独立学院、および継続教育学院それぞれの機能を明らかにし、期待されている教育機能を発揮しているか否かを明らかにすること、第2に、地方重点大学が社会的に不利な農村部出身者、低所得家庭ないし両親が大卒ではない者に対して優れた高等教育リソースへの機会を提供し、各種の教育格差の是正が果たされているのかについて分析すること、そして第3に、地方重点大学内で実際に行われている教育が在籍学生にどのように評価されているのかについて分析し、各機関の教育の質の確保状況を検証することの三点が設定されている。</p> <p>第I部「重点大学内部システムの生成・発展の背景・状況と教育的機能の多様化」では、主にマクロの視点から、政府の大学重点化政策・プロジェクト、独立学院、継続教育の関連制度・政策が整理され、重点大学の学部、独立学院、および継続教育学院が持つべき機能が検討されている。</p> <p>第1章「中国高等教育システムにおける重点大学の生成・発展の背景と状況」では、建国以来の中国における高等教育システムの変遷が整理され、20世紀末以降の高等教育改革の中心となった重点大学制度の発展状況が政府の各種資料・文書類を元に記述されている。</p> <p>第2章「重点大学における独立学院の生成・発展の背景と状況」では、まず独立学院制度の生成・発展について、その背景や歴史的変遷が整理されたうえで、現在までの全国の独立学院の地域分布や規模についてデータに基づき議論されている。</p> <p>第3章「重点大学における継続教育学院の生成・発展の背景と状況」では、継続教育の歴史的発展状況が検討されている。さらに、継続教育をその目的に応じて類型化し、重点大学内に多数設置された継続教育学院の機能について検討されている。</p> <p>第4章「教育機関別の発展経緯と関連政策からみた重点大学内部システムの教育的機能の多様化」では、重点大学内に設置される独立学院の機能として、「高等教育規模の拡大」と「応用型人材の育成」という二つの機能が期待されていること、およびさらに重点大学における継続教育にも「学位授与」と「職業技能育成」という二つの教育的機能が期待されていることを明らかにしている。</p> <p>第II部「地方重点大学の機能多様化と教育機会・質の確保の実態」では、山西省の重点大学の学生、教職員を事例としたアンケート・インタビュー調査により、重点大学における学部、独立学院、継続教育学院の機能がどのように多様化してきたのか、そしてその変容が教育機会や教育の質の確保に適切に結びついているのかについて実証的に検討されている。</p>	

申請者氏名 田 稼之

第5章「教育機関別の教育サービスの特性からみた中国地方重点大学3機関の機能」では、山西省の教育の現況と高等教育に対する期待の変化が検討されている。

第6章「学生の属性からみた地方重点大学3機関の機能と教育機会の階層間分布」では、学生の個人的属性として、進学ルート、進学前の学歴、入学年齢を設定し、地方重点大学の3機関の教育機能の違いを明らかにするとともに、学生の階層的属性として学生の出身地、学生のご家庭所得、および親の学歴に注目して、社会的に不利な層の教育機会がどの程度確保されているのかについて検討されている。

第7章「学生の進学動機とそれへの階層的影響要因からみた地方重点大学3機関の機能分化と教育機会選択の階層間の格差」では、地方重点大学内の3機関への進学動機に着目し、学生がどのような進学動機を有してそれぞれの機関を選択しているのかを明らかにし、さらにそれぞれの機関への進学動機に対して、階層的要因がどの程度影響しているのかについて検討されている。

第8章「各教育機関に対する学生の主観的評価からみた中国地方重点大学3機関の教育の質の確保と教育機能」では、当該機関で教育を受けることによる能力形成について学生自身がどのように自己評価しているのか、その自己評価の違いがどのような要因から生じているのかを分析している。さらに、学生による各所属機関の教育サービスに対する満足度が異なる要因について分析を行っている。

終章は第I部と第II部の議論を通じての結論を示し、残された課題について整理している。

以上のように、多数の中央政策文書、またアンケート調査とインタビュー調査を通じて収集された量的・質的データの分析を通じて、本論文では次の結論が得られている。

第一に、大学重点化政策や政府主導のプロジェクト等に基づいて設定された重点大学は、中国高等教育の水準の向上と高水準の専門知識人材の育成のみならず、教育機会市場の多様なニーズに対応して、高等教育規模の拡大、「応用型人材」の育成、社会人向けの学位授与型の継続教育、および職業技能育成のための継続教育という多様化した教育的機能を同時に有することとなったことが示された。

第二に、地方重点大学の学生や教員に対するアンケート調査とインタビュー調査の分析を通じて、3機関が有する教育機能を検討した結果、社会人に対する学位授与と職業技能育成が期待されている継続教育学院が、実際には学位授与教育に偏っていること、また応用型・実践型人材育成が期待されている独立学院が、実際には学術的な教育にシフトしていることが明らかとなった。

こうした結論は、これまでの中国高等教育研究の成果に、高等教育機会における格差是正のあり方や、期待されている教育機能と実際の機能との齟齬といった論点を付加するものであり、その研究上の意義は高い。

公開審査会では、参加者から本論文の内容と意義について高い評価がなされた。一方で、広大な中国において地方でも省によって高等教育や学生の状況が異なることが考えられることから、複数の事例研究を通じて、格差問題にアプローチすることの重要性も指摘された。また、卒業後の進路や職業選択といった出口の問題への注目も、満足度や格差是正について必要であることも指摘された。こうした課題は本論文でも残された課題として言及されており、中国高等教育研究者が全体で検討すべき課題であると考えられる。こうした課題は残るものの、本論文の成果の新規性や研究上の意義は十分に認められるものである。

以上のとおり、本論文は中国における高等教育政策の網羅的な検討に加えて、従来の中国高等教育研究に新たな研究視点と成果を提供しており、博士学位の授与にふさわしい論文であると判断する。

公開審査会開催日	2022年 12月 24日			
審査委員資格	所属機関名称・資格	氏名	専門分野	博士学位
主任審査委員	早稲田大学文学学術院・教授	沖 清豪	教育制度論	
審査委員	早稲田大学文学学術院・教授	村田 晶子	社会教育学	博士(早稲田大学)
審査委員	早稲田大学文学学術院・教授	梅本 洋	教育哲学	